

令和3年度（2021年度） 環境管理実施計画兼報告書 【課名：計画課】

推進責任者（課長）	作成者（推進員）
福澤	小貫
令和4年5月10日	令和4年4月25日

環境目的	省エネ法に基づくエネルギー使用量の低減															
環境目標	中長期計画書に基づく目標の推進（平成28年度（2016年度）を基準とし、年平均1%のエネルギー原単位の改善）															
目標達成の手段 （具体的にどんなことを進めるか）	成果の記録等	担当者	区分	スケジュール（令和3年度（2021年度））												備考 （合計）
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
各施設毎に設定した原単位に基づき消費原単位の削減に取り組む	組合全体のエネルギー消費原単位前年度比（%） 省エネ法における目標：5年度間平均値で1%のエネルギー原単位削減	計画財政担当	計画	99.0			99.0			99.0			99.0			99.0
			実績	92.3			91.1			88.3			98.7			94.3
			増減	▲ 6.7			▲ 7.9			▲ 10.7			▲ 0.3			▲ 4.7
	計画		544.5			568.4			559.0			528.2			2,200.8	
	実績		518.5			459.2			502.1			542.8			2,022.6	
	増減		▲ 26.0			▲ 109.2			▲ 56.9			14.6			▲ 178.2	
<進捗チェック> 推進員が四半期末に記入⇒推進責任者（課長）に提出	推進員：進捗状況確認日（日付）⇒			R3. 8. 11			R3. 10. 26			R4. 2. 14			R4. 4. 25			R4. 4. 25
	進捗状況マーク記入欄 ⇒			◎			◎			◎			◎			◎
	目標に対する結果 （パフォーマンス） 進捗状況・実施事項等			第二工場における灯油、コークスの使用量、第一・第二処分場における電気の使用量が前年度同期より減少したため、エネルギー使用量は減少した。 第二工場、第一・第二最終処分場におけるエネルギー使用量は減少したが、生産数量は、前年度同期より微増したため、エネルギー消費原単位は前年度同期を下回った。	第二工場における灯油、コークスの使用量、第一・第二処分場における電気の使用量が前年度同期より減少したため、エネルギー使用量は減少した。 第二工場では、点検作業のためエネルギー使用量は減少に伴い、稼働日数も減少しましたが、第一・第二最終処分場における排水処理量は前年度同期より微増したため、エネルギー消費原単位は前年度同期を下回った。	第一工場における灯油、第二工場における灯油、コークスの使用量、第一・第二処分場における電気の使用量が前年度同期より減少したため、エネルギー使用量は減少した。 第二工場では、点検作業のためエネルギー使用量は減少に伴い、稼働日数も減少しましたが、第一・第二最終処分場における排水処理量は前年度同期と同程度であったため、エネルギー消費原単位は前年度同期を下回った。	第二工場における灯油、電気の使用量が前年度同期より増加したため、エネルギー使用量は増加した。 第二工場では、点検作業の日数が減少したことで、前年度同期より稼働日数が増加したため、エネルギー使用量は増加しましたが、エネルギー消費原単位は減少しました。第一・第二処分場における電気の使用量が前年度同期より減少しており、第一・第二最終処分場における排水処理量は前年度同期と同程度であったため、エネルギー消費原単位は前年度同期を下回った。	第一工場における灯油の使用量、第二工場における灯油、コークスの使用量、第一・第二処分場における電気の使用量が前年度より減少したため、エネルギー使用量は減少した。 エネルギー使用量の減少に伴い、エネルギー消費原単位も昨年を下回った。								
	推進責任者（課長）：決裁日⇒			R3. 8. 12			R3. 11. 5			R4. 2. 14			R4. 5. 10			R4. 5. 10

進捗状況欄記入マーク

◎(100%)：うまくいっている ○(100%未満～95%)：概ねうまくいっている △(95%未満～90%)：ほぼうまくいっている ×(90%未満)：うまくいっていない
 なお、数値目標の設定が困難な場合は、定性的な表現を用いることができる。
 *その他実績状況について、進捗状況・実施事項等の欄に記入

令和3年度（2021年度） 環境管理実施計画兼報告書 【課名：計画課】

推進責任者(課長)	作成者(推進員)
福澤	小貫
令和4年5月10日	令和4年4月25日

環境目的	温暖化防止のため温室効果ガス排出量を削減する															
環境目標	東埼玉資源環境組合地球温暖化対策実行計画に基づき、令和3年度(2021年度)の二酸化炭素排出量を98,262t以下にする(基準年度排出量115,196tの▲14.7%とする)															
目標達成の手段 (具体的にどんなことを進めるか)	成果の記録等	担当者	区分	スケジュール(令和3年度(2021年度))									備考 (合計)			
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
非エネルギー起源：89,639t以下 エネルギー起源：8,623t以下 【算出方法】 非エネエネルギー起源：年間焼却量×廃プラ割合×(100%-水分量)×排出係数 エネルギー起源：各燃料使用量×排出係数	四半期毎の非エネルギー起源、エネルギー起源に基づく二酸化炭素の量を算出(四半期の計画内訳は令和2年度(2020年度)温室効果ガス排出量を基に按分した)	計画財政担当	計画	30,574			26,335			23,200			18,154			98,262
			実績	29,466			26,337			24,451			22,453			102,889 ※
			増減	▲ 1,108 96.4%			2 100.0%			1,251 105.4%			4,299 123.7%			4,627 104.7%
<p><進捗チェック> 推進員が四半期末に記入⇒推進責任者(課長)に提出</p> <p>目標に対する結果 (パフォーマンス) 進捗状況・実施事項等</p>	推進員：進捗状況確認日(日付) ⇒		R3. 8. 11	R3. 10. 26			R4. 2. 14			R4. 4. 25			R4. 4. 25			
	進捗状況マーク記入欄 ⇒		◎	○			△			×			○			
		第一四半期(4-6月)の状況 計画:30,574t、実績:29,466t (4-6計画比96.4%、年間計画比30.0%) 【主な要因】 焼却量の減少 前年比-988.53t(第一-659.94t、第二-328.59t) 廃プラ割合の減少 実績22.6%(第一-24.4%、第二20.8%) 昨年度26.7%(第一-31.5%、第二21.9%)	第二四半期(7-9月)の状況 計画:26,335t、実績:26,337t (7-9計画比100.0%、年間計画比26.8%) 【主な要因】 焼却量の減少 前年比-2,591.67t(第一+300.63t、第二-2,892.30t) 廃プラ割合の減少 実績22.5%(第一-27.4%、第二17.5%) 昨年度25.1%(第一-27.4%、第二22.7%)	第三四半期(10-12月)の状況 計画:23,200t、実績:24,451t (10-12計画比105.4%、年間計画比24.9%) 【主な要因】 焼却量の減少 前年比-924.76t(第一+321.31t、第二-1,246.07t) 固形分割の増加 実績63.5%(第一-66.5%、第二60.5%) 昨年度56.8%(第一-55.7%、第二57.8%) 廃プラ割合の減少 実績19.2%(第一-20.4%、第二17.9%) 昨年度22.8%(第一-27.0%、第二18.6%)	第四四半期(1-3月)の状況 計画:18,154t、実績:22,453t (1-3計画比123.7%、年間計画比22.9%) 【主な要因】 焼却量の減少 前年比-2,282.59t(第一-2,627.06t、第二+344.47t) 固形分割の増加 実績61.3%(第一-59.0%、第二63.6%) 昨年度59.6%(第一-54.9%、第二64.3%) 廃プラ割合の増加 実績22.7%(第一-25.8%、第二19.5%) 昨年度20.9%(第一-23.5%、第二18.2%)	令和3年度(2021年度)の状況 計画:98,262t、実績:102,889t (計画比104.7%) 昨年度実績:111,974t(昨年度比:91.9%) 【主な要因】 焼却量の減少 前年比-6,787.55t(第一-2,665.06t、第二-4,122.49t) 固形分割の増加 実績61.2%(第一-60.1%、第二62.3%) 昨年度59.4%(第一-56.1%、第二62.6%) 廃プラ割合の減少 実績21.7%(第一-24.5%、第二18.9%) 昨年度23.9%(第一-27.4%、第二20.3%) ※二酸化炭素排出量の合計値は、年平均値で算出しているため合算値とは異なる										
	推進責任者(課長)：決裁日⇒		R3. 8. 12	R3. 11. 5			R4. 2. 14			R4. 5. 10			R4. 5. 10			

進捗状況欄記入マーク ◎(100%):うまくいっている ○(100%未満~95%):概ねうまくいっている △(95%未満~90%):ほぼうまくいっている ×(90%未満):うまくいっていない

なお、数値目標の設定が困難な場合は、定性的な表現を用いることができる。

*その他実績状況について、進捗状況・実施事項等の欄に記入

令和3年度（2021年度） 環境管理実施計画兼報告書 【課名：計画課】

推進責任者（課長）	作成者（推進員）
福澤	小貫
令和4年5月10日	令和4年4月25日

環境目的		温暖化防止のため温室効果ガス排出量を削減する														
環境目標		東埼玉資源環境組合地球温暖化対策実行計画の推進。埼玉県地球温暖化対策推進条例への適切な対応														
目標達成の手段 (具体的にどんなことを進めるか)	成果の記録等	担当者	区分	スケジュール（令和3年度(2021年度)）												備考
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
東埼玉資源環境組合地球温暖化対策実行計画における「第3章 具体的な取組」の実施	調査・研究部会やEMS運用状況調査等による実施状況の確認	計画財政担当	計画	----->												
			実績	9/9 EMS運用状況調査実施 →												
第三者検証機関による資料等の確認及び検証を実施することで、地球温暖化対策計画・実施状況報告における報告値を精査する	目標設定型排出量取引制度における第三者による検証の実施	計画財政担当	計画	----->												
			実績	5/28 第三者検証実施 → 審査結果受理、公表 検証日程の調整												
			計画													
			実績													
			計画													
			実績													
			計画													
			実績													
<p><進捗チェック> 推進員が四半期末に記入⇒ 推進責任者（課長）に提出</p>	推進員：進捗状況確認日（日付） ⇒		R3. 8. 11			R3. 10. 26			R4. 2. 14			R4. 4. 25			年間評価	
	進捗状況マーク記入欄 ⇒		◎			◎			◎			◎			◎	
	目標に対する結果 (パフォーマンス) 進捗状況・実施事項等	第三者検証の準備を進め、5月28日に、「目標設定型排出量取引制度」における基準排出量の第三者検証を実施した。	9月9日に、EMS運用状況調査を実施時に、東埼玉資源環境組合地球温暖化対策実行計画における「第3章 具体的な取組」の実施状況及び設備等の更新状況・予定について確認を行った。「目標設定型排出量取引制度」における第三者検証の結果報告書を県条例の提出書類とともに県に提出した。	EMS運用状況調査結果の報告を行った。地球温暖化対策計画作成書・実施状況報告書の審査結果通知を受理し、組合ホームページにて地球温暖化対策計画作成書・実施状況報告書を公表した。	「目標設定型排出量取引制度」における「令和3年度分」の第三者検証の日程を調整した。	「目標設定型排出量取引制度」における「令和2年度実績」について第三者検証が無事終了した。										
	推進責任者（課長）：決裁日⇒		R3. 8. 12			R3. 11. 5			R4. 2. 14			R4. 5. 10			R4. 5. 10	

各担当者は、1か月に1回、表の実績欄に予定通り行われた場合は矢印または実績値を入れ、更に進捗状況・実施事項等の欄に下記意味のマークを記入の上コメントを記載する。
 進捗状況欄記入マーク ◎ (100%):うまくいっている ○ (100%未満~95%):概ねうまくいっている △ (95%未満~90%):ほぼうまくいっている × (90%未満):うまくいっていない
 なお、数値目標の設定が困難な場合は、定性的な表現を用いることができる。
 *その他実績状況について、進捗状況・実施事項等の欄に記入